

はじめに

本報告書は、2012 年度に実施した「若者の失業問題に関する基礎理論研究会」の成果の一部である。

本格的な研究会形成の準備という位置づけの本研究会では、委員 2 人にオブザーバー 4 人を加え、読書会形式で、若者の就業問題および若者という集団の捉え方について勉強を始めた。また 2012 年 12 月には、インド・ヴァラナシにある有力大学院や資格試験のための予備校 **Triumphant Institute of Management Education** のヴァラナシ校事務局長 **Anupam Raghvanshi** 氏および広島大学の佐々木宏準教授からご報告をいただいた。記して、あらためて謝意を表したい。

2013 年 3 月

著者

研究会委員

村山 真弓（新領域研究センター次長）

中村 まり（開発研究センター・貧困削減・社会開発研究グループ）

オブザーバー

荒井 悦代（地域研究センター・動向分析研究グループ長代理）

児玉 由佳（地域研究センター・アフリカ研究グループ）

辻田 祐子（地域研究センター・南アジア研究グループ）

牧野 久美子（地域研究センター・アフリカ研究グループ）

目次

第1章	若者就業に関する定説覚書：世界、先進国、日本、インド-----1
	村山真弓
第2章	若年雇用と児童労働の関連についての考察 -----22
	中村まり